

第74回仙台市中学校総合体育大会

体操・新体操

- 1 期 日 令和7年 6月15日（日） 体操競技（男女）
16日（月） 新体操女子（団体・個人）
- 2 会 場 体操競技：仙台大学 第3体育館
新体操：セキスイハイムスーパーアリーナ サブアリーナ

3 競技に関すること

（1）競技種目

① 体操競技

- ・男子：ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒の自由演技を実施（団体は3種目、個人は4種目）
- ・女子：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの自由演技を実施（団体は3種目、個人は4種目）

② 新体操

- ・女子：団体および個人

（2）採点規則

① 体操競技

- ・男子：（公財）日本体操協会制定 2025 年版男子採点規則・2025 年版 U-15 男子適用規則を適用
- ・女子：（公財）日本体操協会制定 2025 年版採点規則・変更規則 I ・女子体操競技情報最新版を適用

② 新体操

- ・女子：（公財）日本体操協会新体操採点規則 2025-2028 年を適用・一部中体連ルール適用

（3）競技規則

① 日本体操協会競技規則最新版に準ずる（一部を除き日本中体連遵守事項に準ずる）

② 男女とも団体は学校単位（地域クラブ活動も同一校）で構成する。

③ 体操競技

- ・体操競技のユニフォームには所属チーム名またはマーク、背部にはゼッケンをつけなければならない（ゼッケン番号は抽選会後に割り振る）。団体は同一のユニフォームとする。女子のレオタードのマークは美観を損ねないところにつけること。

④ 新体操

- ・新体操はユニフォームに所属チームのマーク(3cm×3cm 以上 所属名・校章・略称・イニシャルも可)をつけなければならない。つける位置は前面ウエストより上（上腕を含む）。ゼッケンは無し。個人のユニフォームは団体と同一でなくても良い。

- ・新体操の競技種目は次の種目とする

【女子】 団体・・・フープ（５）

個人・・・フープ、ボール（一人２種目）

- ・新体操女子の伴奏曲は団体２分１５秒～２分３０秒、個人１分１５秒～１分３０秒以内

４ 表彰

（１） 体操競技

- ① 団体（学校対抗）・男女
- ② 個人総合・・・・・・男女
- ③ 個人種目別・・・・・・男女

（２） 新体操

- ① 団体（学校対抗）・男女
- ② 個人総合・・・・・・男女
- ③ 個人種目別・・・・・・男女

５ 申込規定

（１） 申し込み方法（体操競技・新体操共通）

申し込みは所定の用紙（中体連ＨＰよりダウンロード）に必要事項を記入し５月８日（木）まで下記に Excel データのまま C4th で送ること。県立・私立中学校・地域クラブ活動はメールで送ること。（ファイル名を所属校または所属クラブ名に変更してください）

その後に職印を捺した申込書を郵送するか抽選会に持参、または職印を捺した原本を PDF ファイルで送ること。（PDF ファイルの場合は、C4th またはメールで送ること）

注意：申込書は、学校部活動と地域クラブ活動で異なる。

また、地域クラブ活動は抽選会に参加する必要はない。

体操競技・新体操共通

〒 9 8 1 - 3 2 1 3

仙台市泉区南中山 2 - 2 6 - 1 仙台市立南中山中学校内 林亜希子

電話 022 (376) 3127 F A X 022 (348) 2358

メール：ts005339@g.sendai-c.ed.jp

注意 1 抽選会後の申し込み、変更は一切受け付けない。

注意 2 申し込みにあたっては、仙台市中体連会誌の大会要項内容を十分に確認すること。

（２） 体操競技の申し込みについて

- ① 団体は男女とも１チーム４名（補欠２名）を持って編成し、同一人が全種目を競技しなければならない。地域クラブ活動が団体で出場する場合は、同一校またはガイドラインを遵守した場合のみ認める。（学校対抗はベスト３の得点合計で順位を決定する。３名いれば団体とする）
- ② １所属から団体に出場する者の他に個人選手権に出場することができる（人数制限は無し）。
- ③ 男女とも個人選手権に出場する選手は団体の補欠を兼ねることができる。ただし、その場合は団体の補欠と個人選手権の両方に登録しなければならない。（県内のローカルルール）

- ④ 県大会は団体・個人ともにオープン枠になっており、地区予選に出場した者との条件を満たせば、仙台市に個人で出場した選手が県大会で団体選手と交代して登録、または団体の補欠として登録することができる。

(3) 新体操の申し込みについて

- ① 団体競技は1チーム女子5名（補欠3名以内）で編成する。地域クラブ活動が団体で出場する場合は、同一校またはガイドラインを遵守した場合のみ認める。
- ② 個人は1校2名以内とし、団体と兼ねても良い。また、個人には補欠1名をつけても良い。個人の補欠との交代は、当日朝の監督会議を持って最終とする。それ以後の交代は認めない。個人で出場する選手は、必ず2種目演技すること。1種目のみの出場は認められない。
- ③ 県大会枠は女子個人が16名、団体はオープンとなっている。

6 監督（顧問）、審判等

- (1) 監督は出場校の校長、教頭、部活動指導員、教員、または登録された地域クラブ活動の監督とし、監督が引率できない場合は出場できない。
- (2) 監督（顧問）は、生徒が参加する日の朝に行われる監督会議に必ず出席すること。
- (3) 引率する先生は監督会議から会場撤去までの間、大会運営に協力すること。
- (4) 外部（校外）コーチ、テクニカル・アドバイザーは申込書に記入され、学校長が認めた場合のみ可。コーチは外部・校外が対象であり、所属内からコーチを出すことはできない。

注意1 申し込まれない場合は競技場には入れない。または指導できない。他校で登録されて競技場内に外部（校外）コーチおよびTAがいた場合でも登録されないと指導できない。新体操女子の外部（校外）コーチは競技開始後に競技場内に入れない。また、テクニカル・アドバイザーは適用しない。

- (5) 中学校の教職員、登録された地域クラブ活動の監督は、所属以外の学校の外部（校外）コーチにはなれないが、例外として体操競技のテクニカル・アドバイザーにはなれる。

注意1 「外部コーチ」「校外コーチ」「テクニカル・アドバイザー」の明記を忘れないこと。

* 外部コーチ・・・校内において継続的に指導している外部コーチ（所属外）

校外コーチ・・・校外（所属外）で指導しているコーチ

テクニカル・アドバイザー・・・中学校の教職員、または登録された地域クラブ活動の

監督が所属校以外の中学校の補助・指導をする場合（体操競技のみ）

(6) 体操競技の団体、新体操で個人2名出場、または団体と個人の両方に出場する場合は、複数のコーチ（外部・校外コーチ、体操競技のテクニカル・アドバイザー）を登録することができる。

(7) 地域クラブ活動は、仙台市大会以外の他地区の大会も含めてトータルで団体1チーム、個人2名の出場とする。例：仙台市で団体が出場、名取市で個人1名、岩沼市で個人1名

7 その他

- (1) 新体操と体操競技は同一人が兼ねることはできない（男子の新体操は体操競技と兼ねて良い）。
- (2) 本会場において、女子の新体操、体操競技（ゆか）は、CDまたはポータブルオーディオプレイヤー等に曲を入れて、本部が用意した音楽機器を使用するか、持参した音楽機器にて曲をかけること。本部の音楽機器を使用する場合は、本番用だけでなく予備も用意して大会に参加すること。
- (3) 演技開始の際は、各校の音楽係、コーチ等が音楽機器の操作をすること。なお、どちらの音楽機器においても会場のマイク等を使用することは認めない。

※ 音楽機器の操作、音量などは練習や音楽調整の時間際に必ず確認すること。
